



さくらじま

れいわ おん がつ にち
令和4年11月4日 NO18

【学校教育目標】
自ら学び、高めあい
よりよく生きようとする
子どもの育成

こくさいきょうしつ 国際教室 エスぺランサ

桜島小学校には、外国につながるのある子どもたちがたくさん在籍しています。鈴鹿市内の学校の中でも、かなり多い人数となっています。いろいろな国の友達が自然とそばにいて、学校生活を一緒に過ごせる環境は、インターナショナルな感覚が育ち多文化共生の視点からも大変恵まれた環境といえます。

そして、外国につながるのある子ども達の日本語力は様々です。母国から日本に来たばかりの子もいます。日常会話は不自由なく会話できても、学習用語の理解が難しい場合もあります。本校では、そんな外国につながるのある子ども達に日本語力をつけながら学習を進める国際教室「エスぺランサ」があります。



10月26日(水)に5年生の英語の学習として、そのエスぺランサの先生と英語担当の先生と一緒に、「いろいろな国を知ろう」という授業を行いました。子どもたちは桜島小には15か国につながる友達がいることを知って驚いていました。また、5年生はそのうち7か国につながるお友達がいることを知りました。そして、その7か国の場所を地球儀で探し、その国の民族衣装や学校の様子、食べ物などを実際に紹介していきました。ブラジルのお菓子は通訳の馬場先生が作ってきてくださいました。授業では食べることはしませんでした。作り方を、クラスルームに載せたということです。クロムブックを持ち帰ったときに、ぜひ子どもたちと一緒に作ってみてください。



10月24・25日に芸術鑑賞をしました

3年ぶりに芸術鑑賞を行いました。コロナ禍で中止になっていましたが、今年は、鑑賞する内容を、「パントマイム」で表現していただく劇団にお願いし、低学年、中学年、高学年の3回公演をしていただくということで、実現することができました。言葉はなくとも、体と表情で表現する演技に、子どもたちは吸い込まれていきました。演じていただいた方は世界で活躍をされているプロの方でした。終了後に書いた感想には「演技の時、声も出

してないのにとっても伝わってきて表情や動きがとてもすごいなあ

と思いました」「一言もしゃべらないのに表情だけで内容のほとんど

が伝わってきて、それに二人の息

がぴったりでびっくりしました」

「自分のパントマイムのイメージ

とは全く違ったものだったので

こんなにすごかったんだと驚きながら

みました」とプロの演技を近くで

見て、それぞれに素晴らしさや、

面白さを感じ取っていました。

芸術に触れる機会は大切ですね。



